

ブロックチェーン技術を活用し、 モノと情報と気持ちがめぐる サーキュラーエコノミーを実現

2050年カーボン・ニュートラル実現に向けて、
国民一人ひとりの意識変革・行動変容を促進

2050年のカーボン・ニュートラル実現に向けて、資源循環型のライフスタイルへの転換が求められています。

家庭ごみの分別・回収から再資源化までの一連の流れの追跡や、これによる温室効果ガス削減量やデジタル製品パスポート（DPP）への対応に必要な各種情報（例：耐久性や修復性、リサイクルの容易性等）の取得自動化・真正性証明をブロックチェーンTapyrusを用いて実現します。

さらに今後、リサイクルに関するデータとトークンとを紐づけた住民の行動変容を促進するソリューションを構築します。



ブロックチェーン技術を活用し、モノと情報と気持ちがめぐるサーキュラーエコノミーを実現

- ・「モノと情報と気持ちがめぐる社会」をつくるための情報インフラを構築し、資源循環を促進する事で地域におけるCO2排出量や廃棄物を削減します。
- ・九州工業大学と共に「九州工業大学カーボンニュートラル・キャンパス」プロジェクトを開始し、新たな地域脱炭素モデルを構築します。
- ・弊社自身が完全リモートワーク制を導入することにより、脱炭素型ライフスタイルへの転換を推進します。
- ・上記のプロジェクトを地域や企業の特성에合わせて展開し、2050年カーボン・ニュートラルに貢献します。

